



## 熊本地震から学ぶべきこと

文：小川 康成

熊本地震で被害にあわれた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

4月14日から続いた熊本地震は、地震保険の保険金支払いが、地震保険制度の創設以来史上2番目の約1,234億円・支払件数7万6,580件(2016.5.16日時点)に上ることが分かりました。出典:日本損害保険協会HP  
これまでは阪神淡路大震災の783億円が2番目でしたので、これを超える被害額です。但し、阪神淡路のころと比べると地震保険の世帯加入率も11.6%から28.8%へ約2.5倍になっており、一概に被害の大きさを比較することはできません。

史上1番支払いが多かったのは、平成23年の東日本大震災で1兆2,654億円の支払いでした。その後普及率が大きく上がったとはいえ、未だ3世帯に1件しか地震保険に加入頂いていない事実が浮き彫りになりました。益城町のブルーシートが張られた家の方のインタビューで、

「うちは地震保険に入っていたから大丈夫だけれど、隣は入っていなかったみたい。あんなになってどうするのかね?」と答えていた女性が印象的でした。

## 「南海トラフ発生確率は30年で70%」

「政府 地震調査研究本部」調べ

今回の震源地「<sup>ふたがわ ひなぐ</sup>布田川-日奈久 断層帯」の30年以内地震発生確率は、統計上は僅か0.9%でした。しかし実際に被災された人々から見れば1分の1、つまり100%の確率です。被害にあわれた方々にとって「統計上は0.9%でした」と言った所で、何の意味も有りません。

翻って見てみれば、我々東海地方の住民は発生確率30年以内70%と**ほぼ生きている間に必ず大地震に見舞われる**と考えるべきです。

地震保険は、もともと火災保険にセットされた保険ですが、あえて外す場合はお客様に“地震保険は知っているけれど、加入を希望しないです”という確認のサインを頂くルールとなっています。

実際に熊本現地で被害の鑑定に立ち会った関係者に話を伺うと、中には

「そんなはずは無い。(地震保険が)付いて居ないなんて知らなかった」という方々もいらっしまったそうです。

また被害にあわれた建物で、木造の場合は大多数が半損認定されたり、2×4は評定方法が違うので全損になる事が多かったりと建物の構造によって、損害認定が分かれ支払われる保険金に大きな差が出ます。

もちろん「地震保険」の付け方にもコツがあるという事です。万一の場合にきちんと保険金を受け取れる方法で「地震保険」に加入するのもひとつお勧めです。

知っておきたい事として「地震保険」はあくまで法律に基づいて国が運営している被災者救済制度なので、**修理代が全額補償される訳ではない**と言うことです。

逆に言えば、**家財の地震保険金が500万円貰えたとして、100万円分家財を購入し残り400万円で壊れた自動車を新しく購入しても良いわけ**です。

## クラークメンバー 近況報告

### 蛍の光

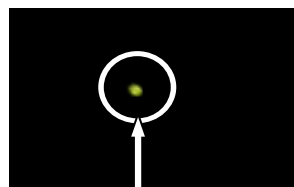
6月初旬に岐阜県へ行き、大正村と恵那峡を見てきました。大正村は明治村や昭和村とは違い、囲われた中に作られたものではなく街中に建物が点在しているものでした。

夜は宿泊した旅館のバスに乗り蛍狩りへ。人生初の蛍でしたが、旅館の方曰くその日は気温が低かった為蛍が少なかったそうです…。

それでもとても綺麗で、夢中で光を追いかけていました。写真を撮ろうと挑戦してみましたがスマホでは限界があり、たぶん蛍かな？という写真しか撮れませんでした。

帰りのバスでうっかり迷い込んできた蛍がいて旅館まで一緒に帰ったのですが、あの蛍は果たして無事に川へ帰れたのでしょうか…？無事を祈るばかりです。

小池



蛍？

### 愛知県唯一の江蘇料理

長久手の喜婦嶽にある“南翔”という中華料理を食べに行ってきました。中国料理の四大料理の一つ江蘇料理の専門店です。江蘇料理はあっさりとした味付けの中華料理で脂っこくなく私好みの味です。中華が食べたくなりお店を調べていたら、移転する前にテレビでチャーハンが有名なお店として紹介されていて以前行ったことがあった南翔が近くに移転していたので行ってみることに。中国人の店員さんおすすめの揚州チャーハン、餃子、油淋鶏などを注文しました。みためもすばらしくどれもとてもおいしかったです。特に揚州チャーハンは10種類の具材の味をごはんに浸み込ませて作ってあるそうで、一品料理として食べて下さいとのこと。中国高級料理師の資格を持つオーナーが作る高級中華を気軽に食べられるお店ですので、気になる方はぜひ一度足を運んでみてください。

古川



### 「Summer Party」

お友達に誘われレストランで行われたフラダンスサークル主催のフラダンス&ハワイアンバンドのパーティへ行きました。

日曜のお昼にランチをしながら、バンドの生演奏でのフラダンスを見ていたらすっかりハワイアンの気分になりました。それにちびっ子が

真似をしながらフリフリと踊っている姿が可愛かったです。フラダンスは単なるダンスや歌だけでは無く、動きや歌には色々な意味が有るとの事で、最後に少し意味を教えて貰いながら、みんなでフラを体験しました。

ゆったりとした時間が流れ、アロハ~を感じるひとときでした。

小川 真紀

